

## 2016年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、年頭挨拶として、社長から全役員に向け、メッセージを送りました。社長メッセージのあらまきは以下のとおりです。

### 「明治安田NEXTチャレンジプログラム」は順調に進捗

- ・ 2015年の日本経済を振り返ると、国内の個人消費が低迷し、輸出も減速傾向で推移するなど、景気は踊り場局面。生命保険業界では、国内・海外を問わず企業買収や他業態との提携など、商品・サービス競争、チャンネル間競争が、ますます激しさを増していくことを予見させる事象が相次いだ。
- ・ 2015年度は、3ヵ年計画「明治安田NEXTチャレンジプログラム」の折り返し年度。
- ・ 「ブランド戦略」としては、「MY長寿ご契約点検制度」の創設や、「MY安心ファミリー登録制度」の積極展開等、超高齢社会の進展を見据えた態勢整備を推進するとともに、「明治安田生命Jリーグ」を通じた、地域社会の活性化や子どもの健全育成等のいっそうの取組強化に努めてきた。また、「成長戦略」としては、ご契約者利益の向上に資するいっそう盤石な経営基盤の構築をめざして、7月に米国のスタンコープ社と買収手続きを開始することで合意した。
- ・ 軸足となる国内生命保険事業においては、上半期の新契約年換算保険料が3割以上の伸展となった営業職員チャンネルの好業績をはじめ、銀行窓販チャンネル・法人営業チャンネルも概ね順調に推移。また、「個人営業改革」、「事務サービス改革」、「アンダーライティング改革」、「人財力改革」等の諸改革も順調に進捗しており、非常に大きな手応えを感じた1年であった。

### 10年後に「明治安田生命が大きく動き出した1年であった」と言われるような年に

- ・ 年頭にあたり、「子どもたちの世代のために、私たちが果たさねばならない責任」、「『社会保障制度』を補完する私たちの使命」、そして「お客さまや働く仲間との出会いから生まれる、感謝・感動を実感できる幸せ」を、全従業員が再確認して欲しい。
- ・ 大切なことは、お客さまや地域社会を想い、その想いを行動に移していくこと。そして、こうした行動の積み重ねにより、お客さまや地域社会からの「ありがとう」の言葉を積み重ねていくこと。
- ・ 迎えた2016年において最も重要なことは、「明治安田NEXTチャレンジプログラム」を完遂するとともに、次の10年に向けた「攻めへのフェーズチェンジ」を可能とする成長感・躍動感あふれる「次なる3ヵ年計画」を打ち立てること。これにより「足元の業績が好調であり、将来の成長への布石も着実に打っている会社」として存在感を高めていく。

明治安田生命グループの全従業員が一丸となって、ともに挑戦していこう。